

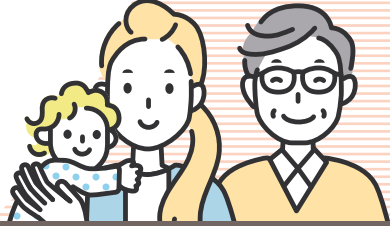
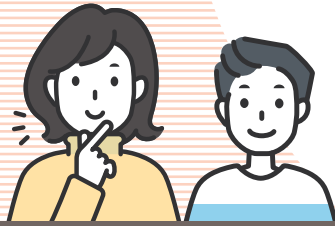
無料

だれでも
さんか
参加
できます！

各分科会
250名

ZOOM
ウェビナー

国際化市民 フォーラム in TOKYO



新たな一歩を踏み出そう これからの多文化共生 ~ことばと教育と福祉と~

2024年2月10日(土曜日)

A 分科会 10:00-12:30

子どもの成長を支える~ことばと文化~

B 分科会 14:30-17:00

外国につながる子どもたちが 活躍できる東京を目指して ~進学・学習の環境を考える~

C 分科会 14:30-17:00

福祉の観点からみる 在住外国人の生活と課題 ~多文化ソーシャルワーカーの役割と その必要性について~

2023年10月、都内の外国人住民は約63万人となり、人口の4.4%を超えました。外国につながる人々も含めると、その総数は計り知れません。多様化が進む中で、「多文化共生」という言葉をさまざまな場面で見聞きするようになりましたが、果たして私たちがめざす多文化共生社会とは、どのような社会なのでしょうか。今年度の国際化市民フォーラム in TOKYOは、個々のテーマに焦点を当てながら、みなさんと一緒にこれからの多文化共生について考えます。

申し込み
方法



左のQRコードまたは下記 URL より
お申し込みください。
<https://forms.office.com/r/ZL3wZEeGaY>

募集開始 2023年12月11日(月) 募集締切 2024年2月4日(日)

※定員となり次第、締め切らせていただきます

事務局・問い合わせ先
.....
公益財団法人東京都つながり創生財団 多文化共生課
〒163-0808 新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 8 階
TEL : 03-6258-1237
URL : <https://tabunka.tokyo-tsunagari.or.jp/>

こくさいかしみん 国際化市民フォーラム in TOKYO

あら いっぼ ふだ たぶん かきょうせい きょういく ふくし
新たな一歩を踏み出そう これからの多文化共生 ～ことばと教育と福祉と～

A 10:00-12:30

こ せいちょう ささ ぶんか 子どもの成長を支える ～ことばと文化～

子どもが成長する過程において、「ことば」は非常に大切です。グローバル化の進展が言われて久しいこの時代、異文化間を移動する子どもたちも少なくありません。親の転勤や移住に伴い、新たな言語や文化と出会う子どももいます。国際結婚の家庭などでは、生まれたときから複数の言語や文化に触れることとなります。そのような環境において、「ことば」と「文化」は子どもの自己形成にどのような影響を与えているのでしょうか。登壇者の方々からお話を伺い、私たちに何ができるのかを考えます。

ひらの ともこ
平野 智子 氏 ●司会進行

一般財団法人港区国際交流協会

おくむら やすこ
奥村 安寿子 氏 ●パネリスト

広島大学大学院人間社会科学研究科・
日本語教育学プログラム 准教授
バイリンガル・マルチリンガル子どもネット 理事・相談員

おおしろ
大城 スサーナ 氏 ●パネリスト

神奈川県立相模向陽館高等学校 非常勤講師、ペルー出身

り げんしやう
李 原翔 氏 ●パネリスト

神奈川県立地球市民かながわプラザ 外国人教育相談、
公認心理師
バイリンガル・マルチリンガル子どもネット 相談員、中国出身

B 14:30-17:00

がいこく こ 外国につながる子どもたちが かつやく とうきやう めざ 活躍できる東京を目指して しんがく がくしゅう かんきやう かんが ～進学・学習の環境を考える～

東京は外国につながる子どもたちが増加し、その背景も多様を極めていきます。今年度、高等学校においても「特別の教育課程」が導入され、新たな取り組みが始まりました。彼らが将来に夢や希望をもち、十分に活躍できるようにするためには、どのような仕組みが必要でしょうか。子どもたちにとって大きな壁である高校受験制度、そしてその先のサポート体制などについて、現場の先生のお話を伺い、隣国韓国の教育制度を学びながら、東京の新たな取り組みを模索します。

なかやま まりこ
中山 真理子 氏 ●モデレーター
NPO 法人多文化子ども自立支援センター 代表理事

たけやま さとし
竹山 哲司 氏 ●パネリスト
東京都立六郷工科高等学校 多文化共生推進部 主任

なかえ ちづる
仲江 千鶴 氏 ●パネリスト
千葉県立生浜高等学校
外国人児童生徒等教育相談員支援コーディネーター

たなか みつはる
田中 光晴 氏 ●パネリスト
文部科学省 専門職、
国立教育政策研究所 フェロー



C 14:30-17:00

ふくし かんてん 福祉の観点からみる ざいじゆうがいこくじん せいかつ かだい 在住外国人の生活と課題 たぶんか やくわり ～多文化ソーシャルワーカーの役割と ひつようせい その必要性について～

日本で暮らす外国人の増加に伴い、外国人相談窓口の数も増えていきます。しかし、外国人住民が言語、文化等の観点で安心して利用できる行政機関や制度はまだ少ないのが現状です。特に外国人の定住化に伴い、暮らしの中で生じる様々な課題は複雑に関連しあい、福祉面での対応がますます求められています。本分科会では、外国人のライフステージ上の課題を多文化ソーシャルワーカーという福祉の観点から考えます。

いしかわ くみこ
石河 久美子 氏 ●課題提起
日本福祉大学 名誉教授

たかぎし
高岸 あや 氏 ●事例発表
医療法人社団じょうどう 慈雲堂病院
看護アシスタント、フィリピン出身

ごとう みき
後藤 美樹 氏 ●事例発表
外国人ヘルプライン東海 代表、多文化ソーシャルワーカー

あら い けいこ
新井 啓子 氏 ●事例発表
新宿区大久保高齢者総合相談センター 主任介護支援専門員
(地域包括支援センター)

さんか
だれでも参加できます！

